

性課  
児童  
女児

すてきな恋人関係築いて

「デートDV防止缶バッジデザイン決まる

市は、若い世代が「デートDV」を身近な問題として考えてもらえるよう、缶バッジを作成しました。

昨年末にデザインを公募し、市内外から8～62歳までの幅広い年齢層の方から応募がありました。

1月13日に審査会を行い、応募総数92点の中から、最優秀作品1点、優秀作品2点選ばれました。

審査は、庄原市男女共同参画プラン策定推進委員長、県立広島大学の学生5人、庄原市女性相談員の計7人で行い、デートDV防止のメッセージが伝わること、高校生が男女問わず使用したいと思えるデザインであることを重点に審査が行われました。

最優秀作品は、「デザインがポップでDVの文字もさりげなく、抵抗なくつけられる」とてもかわいく、かばんやペンケースに付けたい」という評価から、妹尾卓也さん(板橋町)の作品が選ばれました。

缶バッジは、市内県立高校へ2月中旬に配布する予定です。

※デートDVとは、恋人からの身体的、精神的、経済的、性的暴力のことをいいます。



最優秀作品



審査会の様子

総務課

明るい新年を祈念して

シルバー人材センターが門松としめ縄寄贈

市は、庄原市シルバー人材センターから門松としめ縄の寄贈を受けました。

12月19日、同センター門松作成同好会の6人が市役所を訪れ、本庁舎西側の玄関の両脇に、高さ約2メートルの門松を約1時間かけて設置しました。

門松は1月13日まで飾られ、来庁者を出迎えました。



設置作業を行う会のメンバー

民課  
市生

電光掲示板で暴力追放を訴える

庄原警察署管内暴力追放協議会がLED電光掲示板寄贈



暴力追放、暴力団排除に関する標語の表示などを目的とした「LED電光掲示板」が、庄原警察署管内暴力追放協議会から市へ寄贈されました。

この電光掲示板は、防水機能を備えており、標示面への光の反射がなく日

中でも文字がはつきり見えます。1文字当たりの大きさは縦32センチ、横32センチ、文字の色は赤、緑、橙の三色で表示され、遠方からでも見やすくなっており、市役所東交差点に設置されています。

12月21日には市役所市民ホールで寄付受納式が行われ、関係者約30人が出席。式典に続き除幕が行われ、出席者に披露されました。

同協議会の中川茂樹会長は「この電光掲示板を見られることで、暴力団排除意識が高まることを期待します」と話していました。



設置された電光掲示板